



## 食を調べる その4 図書館の職員に聞く

図書館ではみなさまの調べ物のお手伝いをする「レファレンス」というサービスをしています。探し方が分からない、本が見つからないという時は、カウンターやフロアにいる職員に気軽にお声をかけて下さい。

★探すテーマやキーワードはできるだけ具体的に。資料を探しやすくなります。

★すでに調べたものがあれば、それもお伝え下さい。

例：『〇〇〇』という本にでていた、「〇月×日の△△新聞に載っていた」

『◇◇◇』は見たがわからなかった」など

**本のタイトルが分からなくても大丈夫です。あきらめずにご相談ください！**

★電話やメールでもご相談をお受けしています[調査相談専用電話：052-212-3200]

### 例 文学・エッセイ / 内容から本を探す

『江戸前食物誌』(ランティエ叢書 2) 池波正太郎/[著] 角川春樹事務所 1997.7  
(請求記号 914.6/イケ/729564)



#### 食を知る人のおいしいエッセイ

開高健、壇一雄、立原正秋…日本にも大勢の食通作家がありますが、やはりこの人ははずせません。池波正太郎が食べ物について書いたエッセイをまとめたのがこの本です。

「てんぶら屋に行くときは腹をすかして行って、親の敵にでも会ったように揚げるそばからかぶりつくように食べていかなきゃ。」  
こんな目次を読むだけで、早くもおなががり鳴り出しそう・・・。

#### 『ぎょうざのひ』

かとうまふみ/作・絵 偕成社 2001.5  
(請求記号 E/カト/798384)

#### 迫力の絵本！

とにかく迫力満点。作る楽しさ、食べる楽しさが表情豊かに描かれています。家族みんなでこの本を読んでぎょうざを食べると、盛り上がること間違いなしです。



#### ●幻のゼリーが復活！

『しろばんば』 井上靖/著 中央公論社 1962  
(請求記号 B913.6/イ3/29)

井上靖の自伝的小説「しろばんば」。少年時代の多感な心情が書きつづられた作品ですが、当時の食べ物や生活についてもよく描かれています。その中で、とてもこの美味しさを説明できない、と絶賛されている豊橋市の若松園の黄色いゼリーが、井上靖生誕100年を記念して、2007年初夏に復活、夏の季節限定で発売されました。



若松園が復活させた「洪ちゃの黄色いゼリー」